

平成 29 年 11 月 10 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 運営委員会議事録（11 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、木村、葉木、若笠、事務局天寺

沢野推進委員会委員長、森村アドバイザー

1. 濱田代表理事 挨拶

この間、座間で大変痛ましい事件が起きた。不名誉な形で座間市の名前が広まってしまった。

現在、座間災害ボランティアネットワークでの防災セミナーは、危機管理セミナーとして話しをしているが、今回の事件で、「異臭に気づいたが 110 番通報をしなかった」というコメントを見て、自分が巻き込まれるのを嫌がって通報しなかったのだと思うが、地域の安全は、市民の危機管理意識にかかっていると今回の事件で痛感した。

また先日は、学童保育の危機管理について研修をしてきた。盲点になっている。災害・防災の分野だけでなく、取り巻く環境の変化をしっかりと見て、一人ひとりが危機管理をしっかりととして欲しい。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

- 東海地震予知を前提とする仕組みの変更と暫定対応が中央防災会議で検討された。これにより自治体の対応が変わってくるだろう。
- 社会デザイン学会にてざま災害ボランティアネットワークが奨励賞を受賞。12/10 授賞式。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 来年 3 月の第 5 回定時社員総会にて、理事改選がある。それに伴い、理事の選挙告知と本部運営委員の推薦について確認した。理事定数は 5 名（神奈川・千葉・埼玉）、運営委員は東京 2・埼玉 2・千葉 4 **2**・神奈川 4 **2**の定数となる。運営委員会規則を一部改正 **修正前の千葉と神奈川の定数 4 は理事を含む数となっていました。運営委員の定数は理事以外の委員の数となります。この点を訂正します。**
- 新しい制帽のデザインが挙がってきた。12 月ニュースレターで案内・注文受付 3 月総会時に手渡しを検討。
- 将来の税額控除を目指して、来期より寄付金を募集する。寄付金は「災害対応積立金」と「SL 活動基金（新設）」に折半し、SL 全体の活動に充てる。
- SL 企画セミナー第 2 弾として、「初心者のための DIG 演習」が 12/4 から全 4 回シリーズで始まる。定員 20 名。参加費 2000 円。
- 防災談話室@mansion 第 3 回目を 11/8 に実施。参加者 11 名。

4. 各地域の活動報告

千葉県ネット・流山ネット（岡部）

- 千葉県ネットでは、11/12 県ネット秋季研修として、九十九里・海匝災害史を巡る視察研修を行う。また県ネット活動報告会を H30 年 1/27(土)に実施することとなった。13:30～報告会 15:30～研修会 17:00～親睦会 を予定している。

埼玉県ネット（若笠）

- 11/8 立川防災館研修（集合：立川駅 13時）
- 11/12 千葉県ネット主催のバス見学ツアー
- 11/21 定例会・研修（武蔵浦和サウスピア 8 F）14:30～16:50 その後、親睦会。

神奈川県ネット

- 10/20-21 神奈川県ネット野外合宿訓練は台風の影響で中止となった。

湘南ネット（葉木）

- 11/19 「熊本地震に学ぶ」をテーマに熊本市長の講演会を鎌倉市で開催される
- 11/25 大磯にて「南三陸の記憶」写真展示に参加予定
- デイサービスでの防災対策。管轄を調べている。
- 学童での防災対策について問題提起したら防災課は全く認識していなかった。

県央ネット（濱田）

- 10/9 TBK 横浜市住宅展示場にてさんま祭りが行われた。たい焼きブースを出した。横浜ネットにバトンを渡せたと思う。
- 10/10-11 住環境・災害食アレルギー EXPO に社団 SL ネットとして初めてブース展示を行った。アレルギー食について勉強になったし、非常用炊出袋の展示も行えた。
- 10/29、12/10 大和市社協の依頼で災害 VC スタッフ養成講座を実施。40 名が参加。市職員も参加してくれている。
- 11 月座間市長から感謝状を受賞

6. その他

【次回の開催日】

12月1日（金）13時30分～運営委員会
 理事会は12月1日（金）10時00分～

2017年10月の事業報告と今後の予定(10.6 11.9)

(11月10日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・10/22 衆議院選挙 与党引き続き絶対多数と立憲民主党躍進
- ・11/5-7 トランプ米大統領来日(韓国、中国、ベトナム、フィリピン)

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日時	震央	M	深さ	最大	地域
・10/6/23:56	福島県沖	5.9	53 km	5弱	楢葉町

イ 風水害(内閣府または消防庁災害情報掲載を主に対象)

- ・台風第21号による被害状況等
- 10/23 午前3時頃 御前崎市付近上陸 死者8人

ウ 事故等

エ 火山等

- ・10/11 霧島山(新燃岳)噴火

海外 ア 地震(USGC発表、日付UTC、Mw7以上又は報道等で犠牲者多数)

日時	UTC	震央	M	深さ	国
----	-----	----	---	----	---

イ 火山

ウ 風水害

エ 事故等

オ テロ等(公安調査庁世界のテロ等発生状況等より)

- ・10/20 シリア民主軍、ISの「首都」ラッカ奪還 テロ組織が重要拠点を失う
- ・11/3 シリア軍、ISの東部要衝デリゾール奪還

1-3 防災行政等の動き

ア 政府[内閣府]

- ・9/26 中央防災会議「防災対策実行会議」「関係省庁会議」
東海地震予知を前提とするしくみ変更と暫定対応の決定
- ・11/5 津波防災の日
- [気象庁]11/2 気象防災専門家育成研修(仮称)開催、来年2~3月開催発表
- [文部省]11/9 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業成果報告書

イ 自治体

ウ 東日本大震災

- ・10/27 復興庁 避難・転居者数 8万1866人 前月比 - 2,498人 10/12付

オ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK]

イ 書籍

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 9847人 公認講座 2,230人* 計 12,077人

イ 本部主催のS L 養成事業

- ・[予定]我孫子市講座 11/11-18-19 中央学院大学
- ・[募集中]横浜講座 11/24-25 横浜市民防災センター

ウ 大学等受託のS L 養成事業

- ・[報告]専修大学講座 10/22-28-29
- ・[実施中]明治大学講座 10/28-11/11-12

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

ウ 他主催の事業情報

C、S Lネットワーク/災害ボランティア活動報告

ア 会議行事等

イ 賞(11/10夜正式決定) 社会デザイン学会奨励賞 さま災害ボランティアネットワーク

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業(防災訓練事業)

ア 到達点 2017年 国内累計約582万人、世界で5700万人

イ 新規 今後実施

ウ [報告]緊急地震速報シェイクアウト訓練 11/1 10時

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

- ・[報告]防災フォーラム 10/14、中間報告会 10/15
- ・[予定]防災国体 11/25-26 26日 防災教育シンポジウム

イ 防災教育普及協会事業

- ・[報告]10/13 防災教育指導者セミナー[気象編]70名定員

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

- ・[報告]被災地訪問研修 11/3-4 社会デザイン学会
陸前高田、大船渡、鶴住居地区、大槌町、宮古市、田老
被災者生活再建支援研究会

- ・[予定]防災実務者セミナー 11/14-16 熊本・福岡

3、事務局等

A、広報 10月25日発行

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

1. 報告事項

1.1. 理事の選挙告示と本部運営委員の推薦について

- 添付資料．理事の選挙告示と本部運営委員の推薦について(案)
- 添付資料．運営委員会規則一部改正

各県からの推薦枠（定数）

地区	東京	埼玉	千葉	神奈川
理事		1	2	2
運営委員	2	2 (理事が兼ねる)	4 (理事 2 名含む)	4 (理事 2 名含む)

1.2. 来年度事業計画について

- 添付資料. 2018 年（平成 30 年）事業計画書(案)

1.3. 制帽のデザイン

- 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク様 デザイン画-2（船山株式会社）

1.4. 寄付金募集について

目標： 将来の税額控除を目指すこと。本部事業の

税額控除の要件 3000 円以上の寄付金を支出した者が 5 年間で平均して 100 人以上いること

税額控除の要件 経常収入金額に占める寄付金等収入の割合が 1/5 以上であること

要件はいずれかを満たす必要がある。

金額： 1 口 3000 円

使途： 会員からの寄付金は「災害対応積立金」と「SL 活動基金（新設）」に折半する。

活動基金として、全体での活動に充てる構想（旧「石原基金」）

2 運営委員の地域報告

2.1 SL 企画セミナーについて

企画セミナー第 2 弾 企画責任者：一政 SL

テーマ：「初心者のための DIG 講習」

日程案：12 月 4 日(月)、11 日(月)、18 日(月)、1 月 15 日(月)

会場：かがやきプラザ 4 階研修室 1.2 を予定

防災談話室@mansion 企画責任者：木村 SL

第 3 回 11/8（水）ちよだプラットフォームにて実施

- 添付資料．実施報告書

2.2 地域からの報告

3 次回運営委員会

2017 年 12 月 1 日(金)13：30～

以上